

エコアクション21

# 環境活動レポート

令和03年度



株式会社 **イセキ** 関西中部

## 1. 環境活動レポート発行にあたり

### 1) はじめに

この環境レポートは、エコアクション21環境経営システム(以下、「EA21」)に基づいた、当社の取り組み及び実績(令和03年1月～12月)について編集しています。

令和03年度環境活動レポートを作成するにあたり、本社及び支社・営業所(愛知、岐阜、静岡、滋賀、京都、大阪、和歌山、兵庫、福井、石川、富山)、その他社内の全拠点の環境数値データを収集し取り組みました。また、太陽光発電システムの自社拠点への設置など、より積極的な取り組みを実施しています。

今後も、地球環境保全に配慮しながら、地域社会の発展に寄与できるよう環境効率経営を推進していきたいと考えています。

### 2) EA21取り組みの状況

平成18年5月 EA21認証・登録手続完了(認証・登録番号0000776)

平成24年1月 取組対象を全営業拠点に拡大

平成31年1月 (株)中セキ関西と合併「(株)中セキ関西中部」へ社名変更

平成31年4月 令和03年度 環境活動レポート発行  
地域清掃活動への参加(春季、本社部門)

令和03年5月 更新審査

令和03年6月 環境教育(社員研修会の実施)

令和03年10月 地域清掃活動への参加(秋季、本社部門)

令和03年11月 環境教育(社員研修会の実施)

## 2. 組織の概要、対象範囲

【社名】 株式会社中セキ関西中部  
【代表者】 代表取締役 佐竹浩  
【担当者】 環境管理責任者 総務部長  
【所在地】 〒444-1221 愛知県安城市和泉町大北61番地  
【連絡先】 TEL 0566-92-7221 FAX 0566-92-7226 Email ist.003@iseki-tokai.co.jp



【事業内容】 農業機械・資材等の販売・サービス、炊飯事業、コイン精米事業、食品加工、健康食品・家電・リフォーム等の販売、農業用施設設計・施工、広告宣伝物の配布業務、育苗用培土生産・販売、建設機械のレンタル、ゴルフ場整備管理機等の販売修理

【従業員数】 820名(令和4年1月1日現在 パート含)

【決算月】 12月

【売上高】 平成31年度実績 15,202 百万円  
令和2年度実績 20,400 百万円  
令和3年度実績 20,800 百万円

【沿革】 昭和35年 三重中セキ農機販売株式会社 創業(本社津市)  
昭和39年 東海中セキ販売株式会社 に社名変更(本社名古屋市)  
昭和53年7月 愛知中セキ販売株式会社 設立(本社名古屋市)  
平成9年1月 静岡中セキ販売株式会社 合併  
株式会社中セキ東海 へ社名変更  
平成9年7月 本社機能を現在地へ移転(愛知県安城市)  
平成19年1月 岐阜中セキ販売株式会社 合併  
平成31年1月 株式会社中セキ関西 合併  
株式会社中セキ関西中部 へ社名変更  
令和3年1月 株式会社中セキ北陸 合併(確定)  
社名変更無し

### 【取扱商品・サービス】

農業機械(トラクタ、耕うん・管理機、田植機、コンバイン、乾燥機、粃すり機、農産物保管庫、野菜収穫機、草刈機、灌水ポンプ、精米機、動力噴霧機、運搬車)、育苗用培土の製造、販売、建設機械の貸出、広告宣伝物配布  
炊飯事業(おにぎり、白飯等の製造)、コイン精米機の運営  
その他(自動車販売および車検整備、生活関連商品販売サービス)

### 【レポートの対象期間及び発行日】

○レポート対象期間 令和3年1月1日～令和3年12月31日  
○発行日 令和04年4月1日

【対象組織】 株式会社中セキ関西中部 全事業所  
(事業所名、所在地の一覧は別紙の通りです。)

【対象活動】 上記事業内容のとおり

事業所名	所在地	事業所名	所在地	事業所名	所在地
<b>本社・愛知営業部</b>	愛知県安城市和泉町大北61(2階)	<b>滋賀営業部</b>	滋賀県近江八幡市千僧供町大橋602-1	<b>福井営業部</b>	福井県福井市中新田町9-5
瀬戸営業所	愛知県瀬戸市菱野町291	滋賀整備センター	滋賀県近江八幡市千僧供町大橋602-1	福井営業所	〃
尾張南部支店	愛知県弥富市神戸4丁目6-1	長浜営業所	滋賀県長浜市下坂中町303-1	福井整備センター	〃
尾張西部支店	愛知県稲沢市治郎丸中町43	湖東営業所	滋賀県東近江市乙女浜町599	施設(福井)	〃
稲沢整備センター		八日市営業所	滋賀県東近江市沖野五丁目1649-3	部品課	〃
春日井営業所	愛知県春日井市東野町9-7-5	中央営業所	滋賀県近江八幡市千僧供町大橋602-1	坂井営業所	〃
矢作営業所	愛知県岡崎市西大友町字諏訪4	水口営業所	滋賀県甲賀市水口町植309	培土工場	福井県坂井市春江町本堂22
※ 岡崎倉庫	愛知県岡崎市中村町殿海道5	湖南営業所	滋賀県野洲市西河原1047	奥越営業所	福井県大野市中保21-9-5
西三河支店	愛知県安城市和泉町大北61(1階)	草津営業所	滋賀県草津市追分一丁目4番20号	丹南営業所	福井県越前市矢船町13東馬場9-20
西三河整備センター	愛知県安城市和泉町大北93-2	※ 竜王倉庫	滋賀県蒲生郡竜王町大字鏡368-1	鯖江営業所	福井県鯖江市水落町1-12-18
豊田営業所	愛知県豊田市田代町5丁目15-1	<b>京都営業部</b>	京都府久世郡久御山町森川端8	敦賀営業所	福井県敦賀市木崎西子8-3
西尾営業所	愛知県西尾市一色町味浜中長割31	京南整備センター	京都府久世郡久御山町森川端8	若狭営業所	福井県小浜市遠敷8-8-1
野田営業所	愛知県田原市野田町壱本松1-1	京北整備センター	京都府福知山市三和町芦洲945-1	<b>富山営業部</b>	富山県富山市小中137
田原東出張所	愛知県田原市相川町数原前2	丹後営業所	京都府京丹後市大宮町周积1520-1	富山営業所	〃
渥美営業所	愛知県田原市保美町西原633	綾部営業所	京都府綾部市栗町佃62-2	富山整備センター	〃
東三河整備センター	愛知県豊橋市若松町字若松936	福知山営業所	京都府福知山市土師新町四丁目14	施設(富山)	〃
豊橋営業所	愛知県豊橋市大崎町伊豆沢53番地1	口丹波営業所	京都府南丹市八木町室河原上藪91	レンタル富山営業所	〃
知多営業所	愛知県半田市旭町2-8-1	洛南営業所	京都府久世郡久御山町森川端8	黒部営業所	富山県黒部市沓掛637
阿久比営業所	愛知県知多郡阿久比町板山イモジヤ13-1	山城営業所	京都府城陽市奈島川原口9-2	高岡営業所	富山県高岡市戸出伊勢領2521
フーズ事業部	愛知県春日井市味美西本町1566-2	市島営業所	兵庫県丹波市市島町上垣1055-30	砺波営業所	富山県砺波市五郎丸133-1
名古屋センター	愛知県あま市坂牧大塚7	水上営業所	兵庫県丹波市水上町黒田1005	砺波整備センター	〃
<b>岐阜営業部</b>	岐阜県大垣市大外羽3-25(2階)	<b>阪和営業部</b>	大阪府堺市美原区多治井181-1	レンタル砺波営業所	富山県砺波市五郎丸134
大垣営業所	岐阜県大垣市大外羽3-25	中央整備センター	大阪府堺市美原区多治井102-1	<b>石川営業部</b>	石川県金沢市千木町リ42-1
羽島営業所	岐阜県岐阜市柳津町梅松4-154	御坊営業所	和歌山県御坊市荊木126-2	金沢営業所	〃
岐阜営業所	岐阜県岐阜市上西郷3-2	篠山営業所	兵庫県篠山市大沢1丁目23番地4	石川整備センター	〃
揖斐営業所	岐阜県揖斐郡池田町萩原字中道185	北神戸営業所	兵庫県神戸市北区有野町二郎388	コイン精米部	〃
海津営業所	岐阜県海津市海津町高須599	能勢営業所	大阪府豊能郡能勢町森上162-1	レンタル統括課	〃
郡上営業所	岐阜県郡上市八幡町五町4-9-10	茨木営業所	大阪府茨木市中村町17-23	レンタル金沢営業所	〃
東濃営業所	岐阜県中津川市茄子川1624-1	枚方営業所	大阪府枚方市出屋敷元町2-15-15	グリーン推進課	〃
高山営業所	岐阜県高山市下切町242	泉北営業所	大阪府堺市南区榎179-4	小松営業所	石川県小松市大島町丙185
中濃営業所	岐阜県関市塔ノ洞2481-2	泉南営業所	大阪府泉佐野市南中岡本315-1	レンタル小松営業所	〃
輪之内営業所	岐阜県安八郡輪之内町四郷五反田2554	岩出営業所	和歌山県岩出市荊本106-3	能登営業所	石川県七尾市舟尾町ら18
<b>静岡営業部</b>	静岡県静岡市葵区竜南1-24-34	和歌山整備センター	〃	レンタル金沢西営業所	石川県金沢市示野町西80
静岡営業所	静岡県静岡市葵区竜南1-24-34	和歌山営業所	和歌山県和歌山市島246-7	<b>北陸支社</b>	石川県金沢市問屋町1丁目32番地
浜松営業所	静岡県浜松市東区貴平町55-2	<b>兵庫営業部</b>	兵庫県加古川市平岡町高畑348-1	ミッド事業部	〃
富士営業所	静岡県富士市十兵衛351	兵庫整備センター	〃	施設事業部	〃
		加古川営業所	〃	北陸営業推進グループ	〃
		神戸西営業所	兵庫県神戸市西区神出町小東野字溝端56-188		
		神戸整備センター	〃		
		あわじ営業所	兵庫県洲本市桑間529-3		
		竜野営業所	兵庫県たつの市嘗田町下沖258		
		赤穂営業所	兵庫県赤穂市有年原字原向い177		
		神崎営業所	兵庫県神崎郡福崎町南田原字蓮池新田1248-14		
		但馬営業所	兵庫県豊岡市日高町池上字細登120		
		朝来出張所	兵庫県朝来市新井165-1		
		村岡出張所	兵庫県美方郡香美町村岡区大糠宮ノ前6-1		
		滝野社営業所	兵庫県加東市河高2531-2		
		稲美SS	兵庫県加古郡稲美町下草谷40-27		

※岡崎倉庫・竜王倉庫は無人製品倉庫

#### 4. 環境方針

## 基本理念

株式会社牛セキ関西中部は、農業機械の販売・修理活動及び炊飯事業を通じて、環境と経営の健全な維持向上を目的に、環境改善を自主的かつ積極的に推進し、環境に及ぼす影響を最小限に抑える企業であることを基本理念とします。

## 環境方針

- 1、環境パフォーマンス向上のため環境目標を定め、定期的な見直しを進めると共に代表者による評価と見直しを実施し、環境経営システムの継続的改善を行います。
- 2、当社に適用される法令・規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3、地球環境保全のため、以下の重点項目を推進します。
  - ・省資源・省エネルギーの推進
  - ・廃棄物の削減及びリサイクルの推進
  - ・食品廃棄物の再生利用を推進
  - ・環境保全型商品の拡販および環境保全型施設の設計
  - ・グリーン商品購入の推進
  - ・化学物質の適正管理
  - ・水使用量の抑制と適正使用の推進
- 4、従業員が一人ひとりが環境に対する基本的な考え方を認識し、環境方針に添った行動を取れるように教育を行います。
- 5、省エネ農機など環境に配慮した製品の重点的販売、肥料や農薬の適性・適量の指導助言を行います。
- 6、地域環境の重要性を認識し、「地域との共存・共栄」を図ります。
- 7、環境方針は、全従業員が周知すると共に、一般の人々が入手可能にします。

平成20年 12月 1日制定

令和3年 9月 1日改定

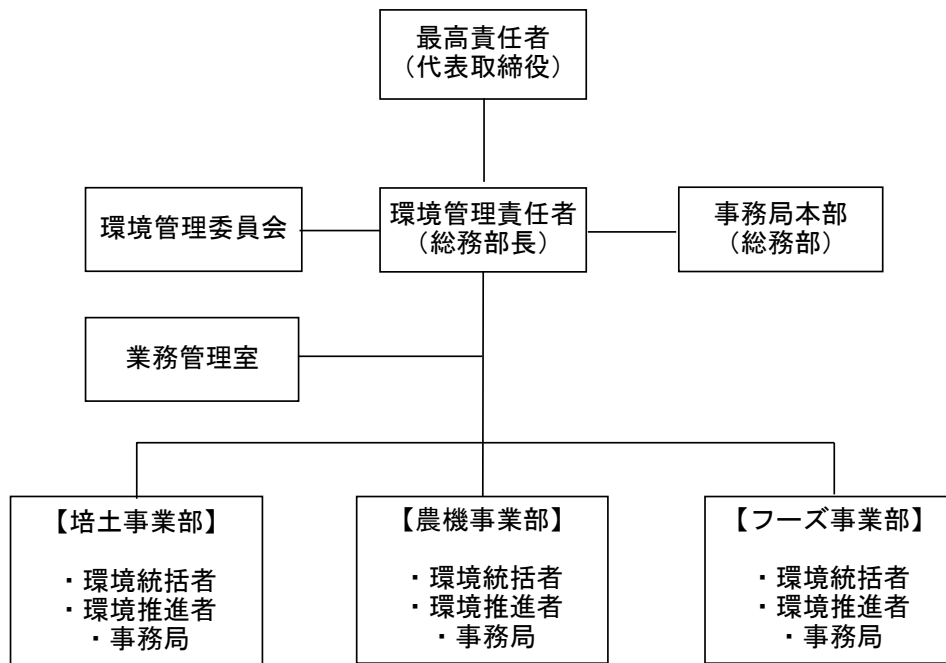
株式会社牛セキ関西中部

代表取締役

佐竹 浩

## 5.エコアクション21実施体制図

### 【推進組織図】



### 【役割】

最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任、効果的で必要十分な実施体制の構築、環境管理責任者の任命及び各自の役割責任権限を定め全従業員へ周知</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な資源の提供、経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・環境経営方針の策定見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し指示を実施、環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全社統一版 環境マネジメントシステムの構築と運用</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境委員会の運営</li> <li>・ 各支社環境責任者の教育</li> <li>・ 代表者への各種情報の報告</li> <li>・ 全社の環境活動計画の進捗管理</li> <li>・ 全社の環境に関する問題点の提起と解決策の検討</li> <li>・ 内部監査の実施を受けて、精査見直しの実施</li> </ul>
業務管理室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EA21・コンプライアンスの内部監査</li> </ul>
事務局本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境マネジメントシステム マニュアル作成</li> <li>・ 全体評価と見直しのための情報を取り纏め</li> <li>・ 環境活動計画と実績の取り纏め</li> <li>・ 環境活動レポートの作成</li> <li>・ 各部門への環境マネジメントシステムの周知</li> <li>・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> </ul>
環境統括者 (事業部長・支社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部門の環境マネジメントシステムの運用</li> <li>・ 各部門の環境教育・訓練の実施</li> <li>・ 各部門の活動計画の策定と具体的取組</li> <li>・ 各部門において環境方針の周知</li> </ul>
環境推進者 (工場長・拠点長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拠点での環境マネジメントシステムの運用</li> <li>・ 訓練の実施、記録の作成</li> <li>・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> <li>・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> </ul>
事務局 (拠点事務担当)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境活動計画と実績の取り纏め</li> <li>・ 環境推進者のサポート</li> <li>・ 拠点の環境数値取り纏め・実績報告</li> </ul>

## 6-1. 環境負荷実績と目標比較・評価

作成日：令和4年1月20日

産業廃棄物の増減は拠点成績に比例することから数値管理対象外とする

北陸エリア①→ CO<sub>2</sub>排出係数0.497kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先 北陸電力

北陸エリア②→ CO<sub>2</sub>排出係数0.482kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先 F-POWER

培土工場 → CO<sub>2</sub>排出係数0.495kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先 テプロ

東海・関西エリア→CO<sub>2</sub>排出係数0.385 kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先㈱エネット

取組項目	部門	基準値	取組目標	目標値	実績値	評価	
		令和2年		令和3年	令和3年		
購入電力量 (kWh)	農機	1,960,019	毎年1%減	1,940,419	1,975,568	×	
	炊飯	887,177		878,305	841,358	◎	
	培土	827,927		819,648	854,286	×	
	計	3,675,123		3,638,372	3,671,212	○	
化石燃料	ガソリン使用量 (ℓ)	農機	毎年1%減	481,932	482,491	○	
		炊飯		9,336	9,243	7,702	◎
		培土		13,785	13,647	10,206	◎
		計		509,921	504,822	500,399	◎
	軽油使用量 (ℓ)	農機	毎年1%減	337,297	333,924	327,972	◎
		炊飯		21,754	21,536	24,328	×
		培土		17,178	17,006	16,992	◎
		計		376,229	372,467	369,292	◎
	灯油使用量 (ℓ)	農機	毎年1%減	50,297	49,794	51,610	×
		培土		904,747	895,700	891,816	◎
		計		955,044	945,494	943,426	◎
	液化石油ガス使用量 LPG(kg)	炊飯	411,118	毎年1%減	407,007	372,705	◎
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	農機	3,002,768	毎年1%減	2,972,740	2,839,802	◎	
	炊飯	1,562,441		1,546,817	1,510,024	◎	
	培土	2,696,838		2,669,870	2,711,050	×	
	計	7,262,047		7,189,427	7,060,876	◎	
水使用量 (m <sup>3</sup> )	農機	20,265	毎年1%減	20,062	21,782	×	
	炊飯	56,456		55,891	65,062	×	
	培土	21,087		20,876	21,087	○	
	計	97,808		96,830	107,931	×	
産業廃棄物排出量 〔最終処分〕 (kg)	農機	458,500	現状維持	458,500	416,280	◎	
	炊飯	1,300		1,287	1,270	◎	
	培土	28,000		28,000	22,090	◎	
	計	487,800		487,787	439,640	◎	
食品廃棄物排出量(kg)		112,000	毎年1%減	110880	109,371	◎	
食品廃棄物の再生(kg)	炊飯	112,000	100%再生	110880	109,371	◎	
食品廃棄物の再生(%)		100%	100%再生	100%	100%	◎	
紙類使用量(kg)	全社	20,611	毎年1%減	20,405	20,555	○	
化学物質の管理、取扱	全社		安全データシートに基づき、毎月適切に管理を行う				
スーパーエコ商品の販売※	農機	30台	毎年30台	30台	32台	◎	

【評価欄】◎目標数値を達成 ○基準値よりも向上したが目標数値は未達成 ×基準値未達成

※井関農機よりスーパーエコ商品と認定された田植機NP80の販売台数

6-2. 一人あたりの環境負荷実績と目標比較・評価

作成日: 令和4年1月20日

取組項目	部門	基準値	取組目標	目標値	実績値	評価
		令和2年		令和3年	令和3年	
購入電力量 kWh/人	農機	2,390.3	毎年1%減	2,366.4	2,390.3	×
	炊飯	1,081.9		1,071.1	1,081.9	◎
	培土	1,009.7		999.6	1,009.7	×
	計	4,481.9		4,437.0	4,481.9	○
化石燃料	ガソリン使用量 ℓ/人	農機	毎年1%減	587.7	593.7	○
		炊飯		11.4	11.4	◎
		培土		16.8	16.8	◎
		計		621.9	615.6	621.9
	軽油使用量 ℓ/人	農機	毎年1%減	407.2	411.3	◎
		炊飯		26.5	26.5	×
		培土		20.9	20.7	◎
		計		458.8	454.2	458.8
	灯油使用量 ℓ/人	農機	毎年1%減	60.7	61.3	×
		培土		1,092.3	1,103.4	◎
		計		1,153.0	1,164.7	◎
	液化石油ガス使用量 LPG(kg)	炊飯	毎年1%減	496.3	501.4	◎
二酸化炭素排出量 kg-CO2/人	農機	毎年1%減	3,625.3	3,661.9	◎	
	炊飯		1,886.4	1,905.4	◎	
	培土		3,255.9	3,288.8	×	
	計		8,767.6	8,856.2	◎	
水使用量 m <sup>3</sup> /人	農機	毎年1%減	24.5	24.7	×	
	炊飯		68.2	68.8	×	
	培土		25.5	25.7	○	
	計		118.1	119.3	×	
産業廃棄物排出量 〔最終処分〕 kg/人	農機	数値設定 せず管理	553.6	559.1	◎	
	炊飯		1.5	1.4	◎	
	培土		33.8	34.1	◎	
	計		744.3	751.8	◎	
食品廃棄物排出量(kg)		毎年1%減	135.2	136.6	◎	
食品廃棄物の再生(kg)	炊飯	100%再生	135.2	136.6	◎	
食品廃棄物の再生(%)		100%再生	100%	100%	◎	
紙類使用量(kg)	全社	25	毎年1%減	25	25	○
化学物質の管理、取扱	全社		安全データシートに基づき、毎月適切に管理を行う			

※基準人数 820名

【評価欄】◎目標数値を達成 ○基準値よりも向上したが目標数値は未達成 ×基準値未達成



## 7.環境目標の中期計画

産業廃棄物の増減は拠点成績に比例することから数値管理対象外とする

北陸エリア①→ CO<sub>2</sub>排出係数0.497kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先 北陸電力

北陸エリア②→ CO<sub>2</sub>排出係数0.482kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先 F-POWER

培土工場 → CO<sub>2</sub>排出係数0.495kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先 テプコ

東海・関西エリア→CO<sub>2</sub>排出係数0.385 kg-CO<sub>2</sub>/ kWh (2020年度のCO<sub>2</sub>調整後排出係数) 購買先(株)エネット

作成日: 令和4年1月20日

取組項目	部門	基準値	令和3年	令和4年	令和5年	
		令和2年	令和2年比1%削減	令和2年比2%削減	令和2年比3%削減	
購入電力量 (kwh)	農機	1,960,019	1,940,419	1,920,819	1,901,218	
	炊飯	887,177	878,305	869,433	860,562	
	培土	827,927	819,648	811,368	803,089	
	計	3,675,123	3,638,372	3,601,621	3,564,869	
化石燃料	ガソリン使用量 (ℓ)	農機	486,800	481,932	477,064	472,196
		炊飯	9,336	9,243	9,149	9,056
		培土	13,785	13,647	13,509	13,371
		計	509,921	504,822	499,723	494,623
	軽油使用量 (ℓ)	農機	337,297	333,924	330,551	327,178
		炊飯	21,754	21,536	21,319	21,101
		培土	17,178	17,006	16,834	16,663
		計	376,229	372,467	368,704	364,942
	灯油使用量 (ℓ)	農機	50,297	49,794	49,291	48,788
		培土	904,747	895,700	886,652	877,605
		計	955,044	945,494	935,943	926,393
	液化石油ガス使用量 LPG(kg)	炊飯	411,118	407,007	402,896	398,784
二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	農機	3,002,768	2,972,740	2,942,713	2,912,685	
	炊飯	1,562,441	1,546,817	1,531,192	1,515,568	
	培土	2,696,838	2,669,870	2,642,901	2,615,933	
	計	7,262,047	7,189,427	7,116,806	7,044,186	
水使用量 (m <sup>3</sup> )	農機	20,265	20,062	19,860	19,657	
	炊飯	56,456	55,891	55,327	54,762	
	培土	21,087	20,876	20,665	20,454	
	計	97,808	96,830	95,852	94,874	
産業廃棄物排出量 〔最終処分〕 (kg)	農機	458,500	453,915	449,330	444,745	
	炊飯	1,300	1,287	1,274	1,261	
	培土	28,000	27,720	27,440	27,160	
	計	487,800	482,922	478,044	473,166	
食品廃棄物排出量(kg)		112,000	110,880	109,760	108,640	
食品廃棄物の再生(kg)	炊飯	112,000	110,880	109,760	108,640	
食品廃棄物の再生(%)		100%	99%	98%	97%	
紙類使用量(kg)	全社	20,611	20,405	20,199	19,993	
スーパーエコ商品の販売	農機	30台	30台	30台	30台	
化学物質の管理、取扱	全社	安全データシートに基づき、毎月適切に管理を行う				

8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

令和4年1月15日

1) 取組結果の評価

取組事項	取組結果	評価	次年度の取組内容
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	全社の総量では減っているが、工場の方では増加がみられるため、メンテナンスや業者の選定に取り組む。今後の動向に注意し、管理を行う	○	主要指標の削減に向けてさらなる取組みを実施する。
電力使用量の削減 エアコン設定温度管理(冷房時28℃、暖房時20℃)/無人エリアの消灯、減灯/カービズ、ウォームビズの実施/定時退社日の設定	換気した状態での空調使用が多く、全体的に使用量の増加がみられたがLED照明の切替や古い設備の入替は計画的に進めている。 エアコンの温度管理や稼働時間の削減など全社的に浸透されている。	○	試験的に電子ブレーカーを導入し電気基本料金の削減を図る 換気中の使用制限 引き続き設備の更新を実施 昼休憩の消灯を実施
水道使用量の削減 節水の呼びかけを徹底	節水は全社的に取り組んでいるがコロナウイルス予防のため手洗い回数や工場の清掃活動などが増加したため、使用量の増加がみられた。 目標未達のため、節水について全社に通知するとともに設備の見直しや節水道具について検討する	○	農機部門では機械についての土は現場でできるだけ落としてくる。洗車の際の節水を引き続き意識していく。
ガス使用量の削減 冬季以外温水使用しない 炊飯工場の稼働効率化	炊飯ラインのボイラー設備のメンテナンスを実施 生産工程の見直しもあり、使用量が減少した 農機事業では冬場以外の使用を制限し削減に取り組んだ。	◎	炊飯工場の設備更新や製造アイテムの集約などを検討 温水使用節約の掲示物作成
コピー用紙購入量の削減 両面印刷/裏紙の使用/印刷物の見直し	グループウェアの活用で、電子書類でのやり取りが進みコピー用紙の使用量が削減できた	○	引き続き電子書類の取り扱い項目増加させ削減を図る
ガソリン・軽油使用量の削減 タイヤの空気圧点検/エンジンオイルの交換/無駄なアイドリングをしない	車両台数の見直しと古い車両の更新を実施 訪問営業の自粛期間もあったため全社的に使用量の減少がみられた。	○	日常点検の徹底、省エネ運転推進する。トラックの更新を積極的に実施
灯油使用量の削減 使用時間の見直し	使用時間の管理を徹底することで培土工場の使用量削減を達成。今年は冬の寒さが厳しかったため拠点での使用量は増加してしまった。	◎	引き続き、使用時間の管理徹底を意識付ける。拠点では不要な量の在庫を持たない
廃棄物排出量の削減 ごみ減量意識の啓発	分別の徹底、有価物は指定業者へ依頼 下取り機械の再販を徹底したが営業活動に比例して排出量は増加してしまった。	○	販売不能品の下取を無くすようにする。
食品廃棄物排出量の削減	目標を達成できました。製造工程上、多少の余剰分を製造し余ったら廃棄していたが、割安で販売することで排出量の削減を達成	◎	引き続き、在庫商品の社内販売や買取業者に販売を推進
食品廃棄物の再生利用を推進	今年も食品廃棄物の再生利用100%を達成しました。	◎	再生利用を実施している食品廃棄物処理業者を選択する。
製品への環境配慮 スーパーエコ商品の販売拡大	メーカー独自の環境配慮基準をクリアした商品にエコ商品認定制度の運用を利用し、お客様にCO <sub>2</sub> 排出量、燃料消費量の低減など環境にやさしいことを提案しました。	◎	引き続き環境負荷の低減をアピールした商品を推進する。
グリーン商品購入の奨励 環境認定商品を優先的に購入	目標を達成できました。 販売品も増え、安価な物も多く選びやすくなりました	◎	販売品の増加に伴い現状のグリーン商品よりいいものを選定す
化学物質使用の把握 化学物質を使用している商品の把握	主に取り扱っている井関農機製品はインターネットでSDSを公開し確認しています。	◎	引き続き社員、お客様に周知徹底をする。

- ◎ … 完全に実行できた
- … 一部実行できた
- × … 取組を実行できなかった

## 2) その他の取組

取組事項	実績
環境教育の実施 (年1回以上)	<p>社員研修会を下記日程にて実施しました。</p> <p>○令和3年 5月13日 ・緊急時の対応訓練(火災やオイル漏れ対応、避難経路等) 実施拠点(本社・愛知営業部、西三河支店、西三河整備C)</p> <p>○令和3年 1月14日 ・エコアクション21についての取組説明 本社にて実施</p>
本社周辺道路の清掃美化 (年2回) 5S運動の実施	<p>本社周辺の清掃活動を下記日程にて実施。周辺地域の歩道や川沿いの草刈り、ゴミ収集等を行いました。</p> <p>春季…令和3年 4月16日 秋季…令和3年10月16日</p> <p>また、営業拠点においても5S運動の一環として、拠点内外の環境美化に積極的に取り組んでいます。</p>
環境配備製品の展示会 (田植え機)	<p>疎植栽培の説明会や環境配備製品の情報提供</p>
培土工場の定期メンテナンス	<p>6月から約1ヶ月をかけて設備のメンテナンスと清掃活動を実施</p>
ホームページに環境への取り組みを紹介	<p>当社ホームページ上でエコアクション21の環境方針や基本理念、本環境活動レポートを掲載しています。</p> <div data-bbox="700 1151 954 1406" data-label="Image"> <p>The image is a screenshot of a web browser displaying the Tokai website. The page title is '環境への取り組み' (Environmental Commitment). It features a navigation menu with 'HOME', '会社概要', '製品情報', 'お問い合わせ', and '採用情報'. The main content area is divided into sections for '基本理念' (Basic Philosophy) and '環境方針' (Environmental Policy). The '環境方針' section lists several key points: 1. Adherence to laws and regulations, 2. Reduction of environmental impact, 3. Promotion of energy conservation, 4. Promotion of recycling, 5. Promotion of environmental education. At the bottom, there is a footer with contact information for Tokai, including the address, phone number, and email.</p> </div> <p>ホームページアドレス <a href="https://www.iseki-kanchu.co.jp/">https://www.iseki-kanchu.co.jp/</a></p>

## 3) 次年度(令和04年)の取組内容について

各営業拠点においては拠点管理者を中心に取組みを進めています。環境数値データの集計を過去のデータと比較しながら随時、目標の見直しや手順の改定を効果的に実施したいと思ひます。全ての項目において環境目標が達成できるように環境経営活動を行っていきたく思ひます。

9-1. 令和3年 環境活動計画及び実施記録

令和4年1月15日

環境方針	環境目標	取組事項	主担当 実施部署	取組みチェック
省資源・省エネルギーの 推進	電力使用量の削減	エアコンの使用時間・温度の調整	全部門	○
		エアコンのフィルタ清掃	全部門	△
		経年劣化家電の更新	全部門	○
		窓ガラスへの断熱フィルム施工	全部門	△
		定時退社日の設定	全部門	○
	水道使用量削減	炊飯ライン清掃の効率化(時間短縮)	炊飯センター	○
		節水意識の啓発	環境管理責任者	○
	ガス使用量の削減	炊飯設備(ボイラー)の清掃・更新	炊飯センター	○
		電気温水器への計画的な変更	全部門	△
		冬季以外温水使用しない	全部門	○
	コピー用紙購入量削減	印刷物、印刷量の見直し	全部門	○
		両面コピー、裏紙使用の実施	全部門	○
	ガソリン、軽油使用量の削減	タイヤの空気圧確認	全部門	△
		エンジンオイルの定期交換	全部門	○
		アイドリングストップの徹底	全部門	○
	灯油使用量の削減	培土製造ラインの清掃・点検	培土事業	○
		使用時間の管理	全部門	○
廃棄物の削減及び リサイクルの推進	廃棄物排出量の削減	使用済み封筒、段ボールの再利用	環境管理責任者	○
	リサイクルの推進	分別回収による再資源化	全部門	○
	食品廃棄物排出量の削減	材料在庫量の管理	炊飯センター	○
廃棄物の削減と再資源化		炊飯センター	○	
食品廃棄物の 再生利用を推進	食品廃棄物の再生利用率 の維持	再生利用実施廃棄物処理業者の選択	炊飯センター	○
環境にやさしい製品の 販売	省エネルギー効果がある 製品の紹介	環境配慮型トラクタ・田植え期の販売促進	農業部門	○
グリーン商品購入 の推進	グリーン商品の事務用品 購入の奨励	環境ラベル認定製品のものを優先して購入	全部門	○
化学物質の適正管理	化学物質使用の把握	化学物質を使用している商品の把握	全部門	○

○・・・実施 △・・・一部実施 ×・・・未実施

未実施の項目については次年度に取り組むこと

9-2. 次年度 環境活動計画

令和4年1月15日

環境方針	環境目標	取組事項	主担当 実施部署
省資源・省エネルギーの 推進	電力使用量の削減	エアコンの使用時間・温度の調整	全部門
		エアコンのフィルタ清掃	全部門
		経年劣化設備の更新	全部門
		照明器具の更新	全部門
		行動稼働時間の効率化	炊飯・培土
		定時退社日の設定	全部門
	水道使用量削減	洗濯機の使用時間短縮	農機部門
		炊飯ライン清掃の効率化(時間短縮)	炊飯センター
		節水意識の啓発	環境管理責任者
	ガス使用量の削減	炊飯設備(ボイラー)の清掃・更新	炊飯センター
		電気温水器への計画的な変更	全部門
		冬季以外温水使用しない	全部門
	コピー用紙購入量削減	グループウェアの活用	全部門
		注文書FAXの電子化	炊飯センター
		両面コピー、裏紙使用の実施	全部門
	ガソリン・軽油使用量の削減	タイヤの空気圧確認	全部門
		エンジンオイルの定期交換	全部門
		効率的な移動計画	全部門
		アイドリングストップの徹底	全部門
	灯油使用量の削減	培土製造ラインの清掃・点検	培土事業
使用時間の管理		全部門	
廃棄物の削減及び リサイクルの推進	廃棄物排出量の削減	使用済み封筒、段ボールの再利用	環境管理責任者
	リサイクルの推進	分別回収による再資源化	全部門
	食品廃棄物排出量の削減	材料在庫量の管理	炊飯センター
		廃棄物の削減と再資源化	炊飯センター
食品廃棄物の 再生利用を推進	食品廃棄物の再生利用率 の維持	再生利用実施廃棄物処理業者の選択	炊飯センター
環境にやさしい製品の 販売	省エネルギー効果がある 製品の紹介	環境配慮型トラクタ・田植え期の販売促進	農業部門
グリーン商品購入 の推進	グリーン商品の事務用品 購入の奨励	環境ラベル認定製品のことを優先して購入	全部門
化学物質の適正管理	化学物質使用の把握	化学物質を使用している商品の把握	全部門

## 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1) 適用となる主な環境関連法規

法令名	内容
自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化等に関する法律)	所有自動車の適正廃棄
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物等の適正管理・排出、マニフェスト交付状況報告、処理業者の適正処理を確認、処理業者の現地確認、マニフェスト管理保管(5年間)、委託契約書の締結
家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品化法)	社内の特定の家電製品の適正廃棄 (ブラウン管式テレビ、液晶・プラズマ式テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)
化学物質排出把握管理促進法 (特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)	化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境保全上の支障を未然に防止
騒音規制法	規制値以下での管理 (空気圧縮機で3.75kW以上のものが対象)
振動規制法	規制値以下での管理(同3.75kW以上)
道路交通法 (アイドリング・ストップの義務) 県民の生活環境の保全等に関する条例	当社駐車場における自動車の駐停車時、エンジンを停止すること。
フロン排出抑制法	業務用エアコンの管理、業務用エアコン廃棄の適正処理 四半期ごとの簡易点検の実施
浄化槽法	保有浄化槽の適正管理(保守点検・清掃) 法定検査の実施 1回/年
自動車NOx・PM法 (自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法)	対象自動車の運行管理
食品リサイクル法 (食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律)	食品廃棄物等の排出の抑制と資源としての有効利用を推進する (対象:炊飯センター)
消防法	防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備の点検等
農薬取締法	農薬の品質の適正化とその安全・適正な使用の確保を図る

### 2) 違反、訴訟等の有無

- 関連法規等については、遵守しております。
- 関係機関からの訴訟、各自治体からの指摘は過去3年間ありません。
- 産業廃棄物置き場の表示において不備がありましたが、現在においては、不備はなく環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

実施日	令和4年1月25日(火)
代表者	代表取締役 佐竹 浩
場所	本社 会議室
取組の評価及び見直し結果	1. 次年度環境目標について ◯ 実績値を基に現実的な数値で設定すること
	2. 環境方針の変更の必要性(□有 <input checked="" type="checkbox"/> 無)
	3. 環境目標の変更の必要性( <input checked="" type="checkbox"/> 有 □無) ◯ 基準となる数値は令和2年の実績とし、中期計画の達成を目指す
	4. 環境目標の達成状況、 ◯ CO <sub>2</sub> 総排出量は全社的に見れば削減が達成されたことは評価できる。数値の増加している項目については、原因を解明し対策をすること。
	5. 環境関連法規について ◯ 合併により拠点数が大幅に増加したため、法規制の漏れがないよう、社内監査時に確認を行うこと
	6. 指示・指摘事項 ① CO <sub>2</sub> 排出量削減については、主要項目の削減達成によって目標達成を目指す。 ② 照明・空調設備・古い拠店の建替えや統廃合は計画的に実施を進める各拠点の優先順位を決め営業部ごとに予算を設定 ③ 全社的に水の使用量が増加傾向にあるため、節水と設備に不備がないか毎月の使用量の管理を徹底すること ④ 培土工場・炊飯工場共に設備の老朽化がみられる。大規模な設備更新について検討を進める ⑤ 営業車両の更新は毎年実施しているが年式の古い中型・大型車両が目立ってきている。積極的に更新を実施する ⑥ グループウェア(関中マガジン)が全社統一で使用開始されので積極的に使用し、紙の使用量を削減すること ⑦ 地域組合内の清掃行事にも参加し、社内だけでなく地域の美化活動にも協力して取り組むこと ⑧ WEB会議システムを積極的に使用し、会議での移動を削減すること ⑨ 実施体制を見直すこと ⑩ コロナウィルス感染症対策は徹底して環境活動を実施すること